

平成31年度 予算特集号

広報
Ako City
Public
Relations



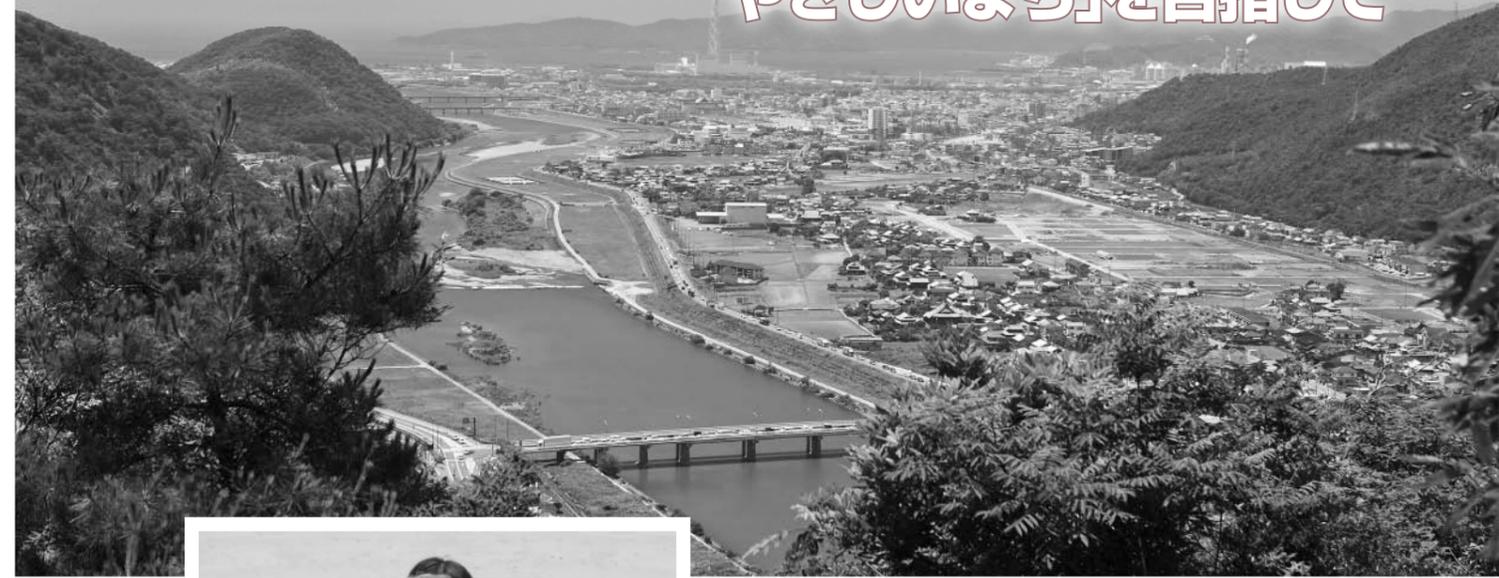
2019
Special Number
平成31年4月10日発行



「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して

- 平成31年度当初予算総額 511億3,349万円 P 2～3
- 平成31年度一般会計当初予算総額 208億4,000万円 P 4～5
市民ひとりあたりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策 P 6～15
- 写真で見る予算 P 16

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して



平成31年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案をはじめとする諸議案が成立しました。3月4日に牟礼市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の概要と予算のあらましについてお知らせします。

平成31年度当初予算額 511億3,349万円

●各会計別予算額

会計区分	平成31年度当初予算額	平成30年度当初予算額	前年度比(%)	
一般会計	208億4,000万円	245億1,000万円	△ 15.0	
特別会計	国民健康保険事業	51億7,600万円	53億3,000万円	△ 2.9
	職員退職手当管理	4億5,280万円	5億3,610万円	△ 15.5
	墓地公園整備事業	770万円	980万円	△ 21.4
	介護保険	44億2,360万円	42億6,420万円	3.7
	駐車場事業	1億3,100万円	1億3,780万円	△ 4.9
	後期高齢者医療保険	7億7,170万円	7億3,420万円	5.1
小計	109億6,280万円	110億1,210万円	△ 0.4	
企業会計	病院事業	114億4,018万円	119億4,567万円	△ 4.2
	介護老人保健施設事業	3億7,467万円	4億2,030万円	△ 10.9
	水道事業	20億6,273万円	19億5,568万円	5.5
	下水道事業	54億5,311万円	54億8,159万円	△ 0.5
小計	193億3,069万円	198億324万円	△ 2.4	
合計	511億3,349万円	553億2,534万円	△ 7.6	

の実現に向けて、幼児教育の無償化をはじめとする「人づくり革命」の推進や第4次産業革命の技術革新等を通じた「生産性革命」を車の両輪とする、総額約101兆4千5百億円の平成31年度一般会計予算が編成されたところです。

本市における財政状況は、歳出において、借換債に伴う償還金の減少や大型事業の完了に伴い、臨時的経費及び投資的経費が大きく減少するものの、経常的経費において、扶助費や特別会計への繰出金など社会保障関係費が引き続き高い水準で推移しています。

また、道路橋梁維持修繕事業や土地区画整理事業などの継続事業をはじめ、赤穂市総合戦略の取組を着実に推進する必要があることに對して、歳入においては、市税、地方交付税及び臨時財政対策債などの一般財源収入の伸びが見込めず、依然として基金を取り崩さざるを得ない厳しい財政環境

去る1月20日に執行されました市長選挙におきまして、市民の皆さまの心を寄せいただき、第8代赤穂市長として、市政の運営を担わせていただけたことは、大変光栄であると同時に、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

今般の選挙を通じて、「赤穂市を変えてほしい」「地域の活性化を図ってほしい」といった政策転換を求める声や、市政に寄せる大きな期待を感じました。

こうした市民の皆さまの負託に応えるため、これまで培ってきた経験、人脈をすべて活かし、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせ、若い人達が誇りに思う、夢と希望にあふれた魅力あふれるまちづくりを全身全霊で進めてまいります。

私は、県職員として阪神・淡路大震災の被災者支援、そして震災からの復興に携わり、一人ひとりの声を聴き、従来のルールに縛られずその方策を一緒に考える

中で、そこに住む人々の力こそが、まちづくりの一番の原動力であると確信しています。新しい赤穂の実現を目指し、今こそ市民の皆さまと共に力を合わせ、協働によるまちづくりを進めてまいります。そのためにも、まず、市民の方々の生の声を聴かなければ前に進めません。多くの方々と直接対話できるようなミニ集会も積極的に開催いたします。

赤穂4万8千市民の真のリーダーとして、ふるさと赤穂に恩返しをさせていただくためにも、皆さまの声を市政に反映させるといふ原点に立ち返り、共に市政推進を担う市議会と真摯に向き合い、ご理解とご協力を得ながら、職員と一丸となって、市民の皆さまに寄り添った政策の実現にチャレンジいたします。

先般、国においては、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、潜在成長率を引き上げるための持続的な経済成長

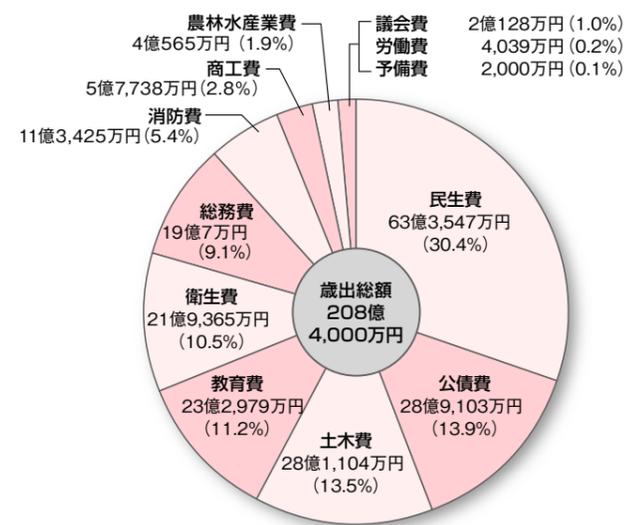
に置かれています。このため、第8次赤穂市行政改革大綱に基づく積極的な歳入確保や経費の節減合理化を着実に実施するとともに、人口減少・少子高

齢化の進展に伴う行政需要の変化に的確に対応し、効率的・効果的な事業実施により、財政の健全性の確保に努めてまいります。



歳出 >>>

歳出面では、地方創生への取組みを総合的に推進するため、赤穂市総合戦略に掲げる各種施策・事業などに重点的に取り組み、未来への投資が実りあるものとなるよう限られた財源の重点的・効率的な配分により、後年度を見据えた財政健全性の確保に努めるとともに、総合計画に掲げる『人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち』の実現に向けて、地域活力の回復を図り、誰もが希望と誇りを持って住み続けたいと思えるまちづくりを推し進めるための予算編成としました。

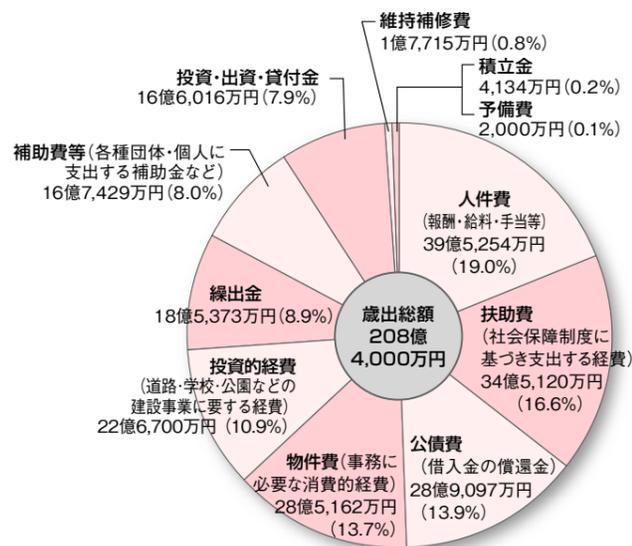


目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



歳入 >>>

歳入面では、市税や地方消費税交付金などについて増収が見込まれるものの、地方交付税に臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額の減額などにより、一般財源の伸びが見込めないなど、非常に厳しい状況であり、財政調整基金や健康管理施設整備基金などの基金から8億5,400万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

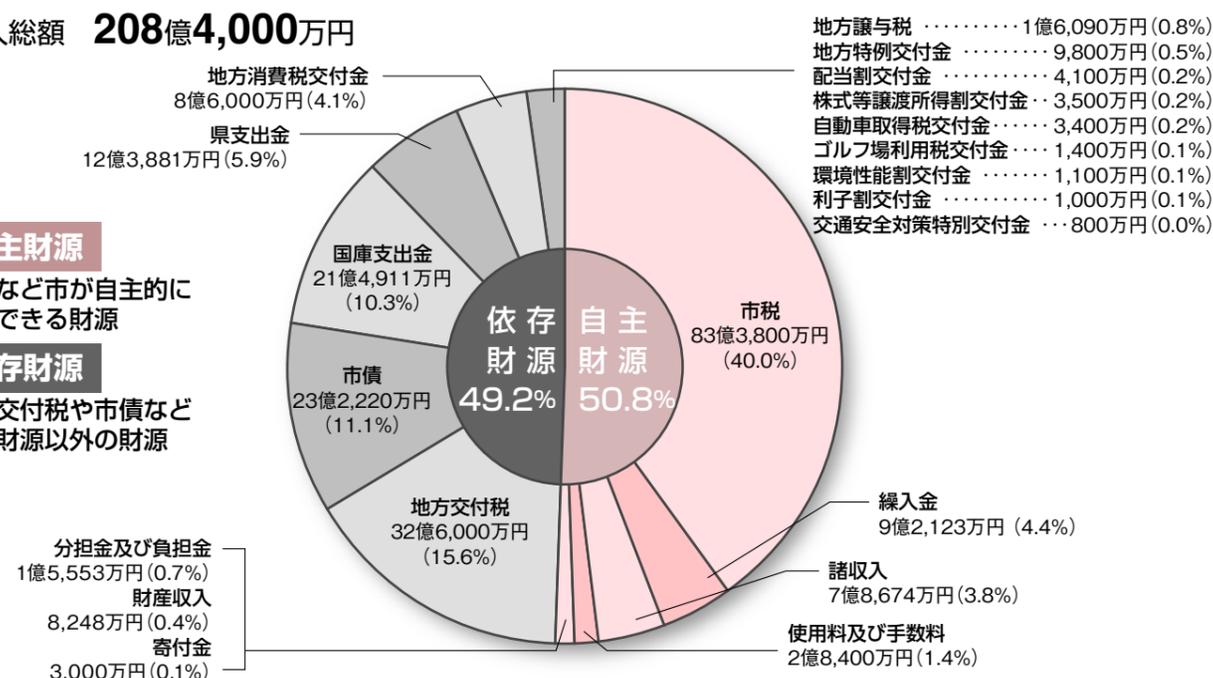
歳入総額 208億4,000万円

自主財源

市税など市が自主的に収入できる財源

依存財源

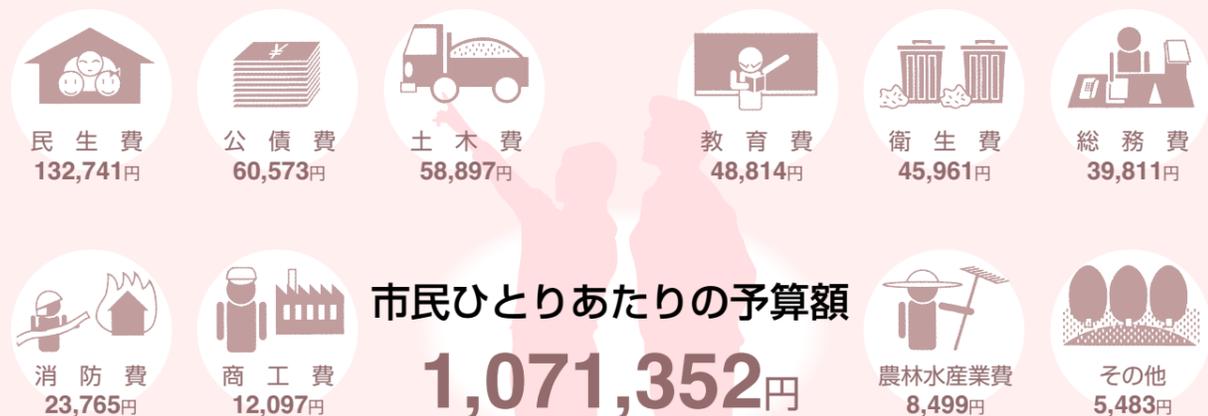
地方交付税や市債など自主財源以外の財源



208億4,000万円

平成31年度 一般会計予算

一般会計 436,641円



特別会計・企業会計(抜粋) 634,711円



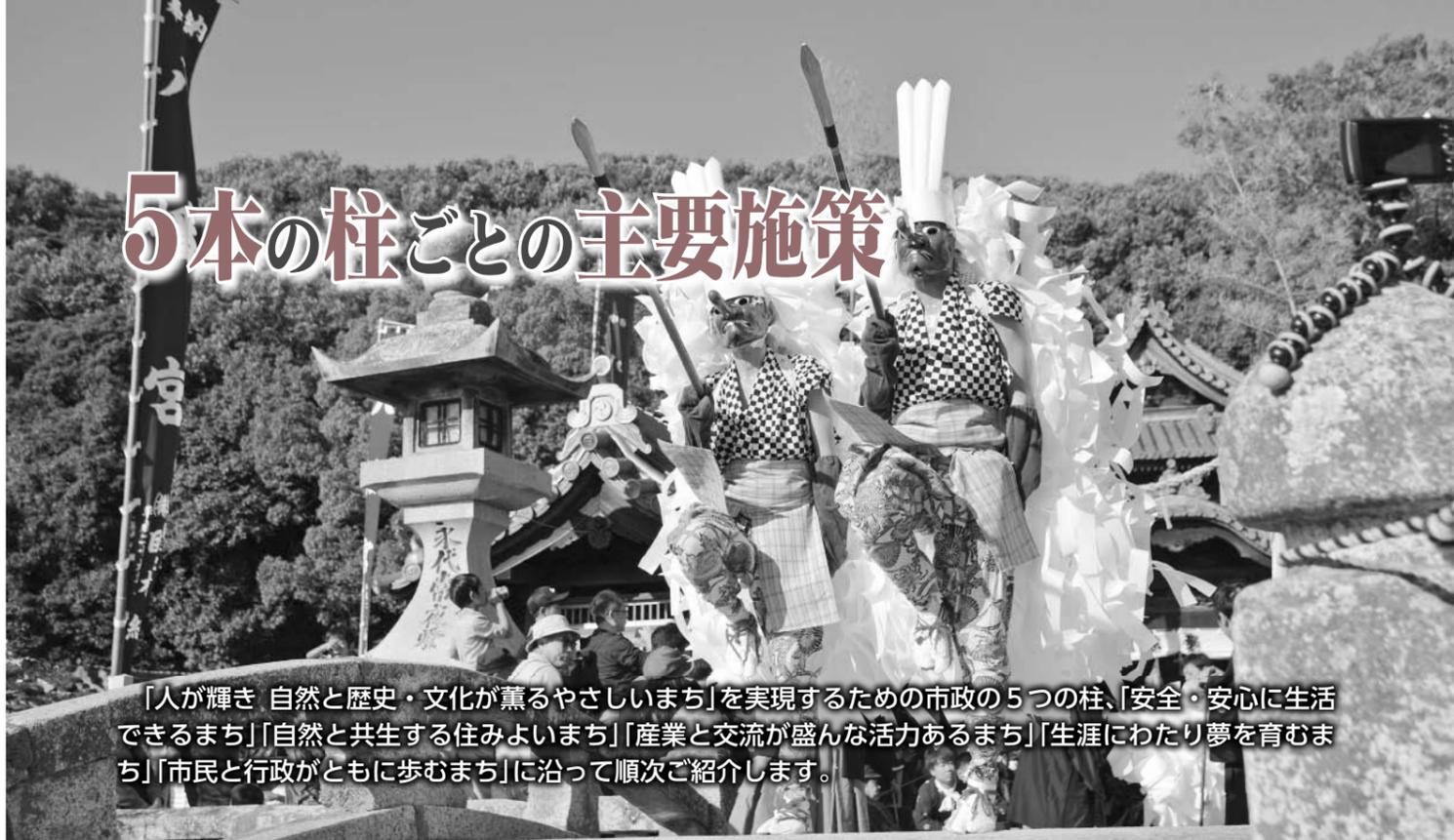
(平成31年2月末現在の人口47,728人で計算したものです)

市税の内訳 総額83億3,800万円



年度別当初予算額と市税の推移





5本の柱ごとの主要施策

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を実現するための市政の5つの柱、「安全・安心に生活できるまち」「自然と共生する住みよいまち」「産業と交流が盛んな活力あるまち」「生涯にわたり夢を育むまち」「市民と行政がともに歩むまち」に沿って順次ご紹介します。

第1の柱

安全・安心に生活できるまちづくり

おもいやりに満ちた福祉社会の構築

少子高齢化が急速に進展する中、市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるユニバーサル社会の実現を目指し、赤穂市地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会等関係機関との連携を深めながら、地域で相互に助け合う地域福祉活動を推進します。

平成31年度においては、地域福祉の重要な担い手である民生委員児童委員の一斉改選を行うほか、尾崎公民館にエレベーターを設置するための実施設計をはじめ、市道の段差解消、総合福祉会館の舗装改修などの整備を行い、誰にもやさしいまちづくりを進めます。児童福祉については、幼児教育の無償化についてのも取組を推進するとともに



に、赤穂市子ども・子育て支援事業計画に基づき、次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進していく必要があります。そこで市内全小学校区におけるアフタースクールの実施をはじめ、引き続き延長保育や一時預かり事業などを行います。また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の幼稚園児及び小・中学校生の給食費を無償化するとともに、保育所や認定こども園等の教育・保育施設を利用する満3歳以上の幼児も同様に給食費無償化の対象とする、新たな子育て支援を実施します。更に、子育てと就労の両

立等を支援するため、新たに、病児・病後児保育を実施するとともに、保育所において、災害時に役立つ防災・安全用品の整備を行います。母子家庭等への支援については、引き続き就業支援などを行うとともに、その他、各種子育て支援施策についても継続して実施します。障がい者福祉については、赤穂市障がい者福祉長期計画に基づき、引き続き障がい福祉サービスや就労への支援を実施するほか、聴覚に障がいのある人とのコミュニケーションを図るためタブレット等を導入し、意思疎通支援事業の拡充を図ります。高齢者福祉については、高齢者が住み慣れた地域で健康な生活を続けていけるよう、介護支援事業を推進するほか、介護者のための健康相談や交流会など家族介護支援事業を実施します。また、フレイル予防の普及・啓発にも取り組めます。

施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

国民健康保険制度については、急速な高齢化の進展、疾病構造の変化や医療技術の高度化等により、医療費が高い水準で推移する中、中・低所得層への税負担に配慮するため保険税率等を改正するほか、引き続き生活習慣病の予防対策を行うなど、被保険者の健康増進に努めます。

介護保険制度については、第7期介護保険事業計画の2年目を迎え、介護サービス給付等の実態に対応したものとされており、引き続き介護予防、地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収、各種申請の受付等、市民の皆さまの窓口としての役割を果たします。

生活困窮者対策については、引き続き一時生活支援事業や食料等支援事業を実施し、自立に向けた支援を行います。

は、赤穂市人権教育・啓発基本計画に基づき、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重することのできる社会の構築に努めます。

保健・医療サービスの充実

健康づくりの推進体制については、健康寿命の延伸を目標とした第3次赤穂市健康増進計画に基づき、市民の生活習慣病予防とともに、健康への意識啓発や各種がん検診の実施など、生涯にわたる健康づくりを推進します。また、こころの体温計事業を実施するなど、心の健康づくりに取り組めます。

また、母子保健対策については、子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するほか、産後ケア事業や母子訪問指導の充実など、よりきめ細やかな対応を図ります。

病院事業については、依然として診療科による医師の偏在がありますが、引き

続き医師の確保に努めるとともに、地域の中核病院として診療体制の一層の充実に取り組むほか、地域医療支援病院として診療所など地域の医療機関との連携強化にも努めます。

また、今後ますます高齢化が進む中、急性期医療から在宅や施設への復帰に向けた支援を行い、住み慣れたご自宅で安心して療養生活を送ることができるよう在宅医療支援を推進します。

介護老人保健施設については、介護支援システムを活用したケアマネジメントの充実や施設利用者の安全・安心を確保するなど、在宅復帰を支援する施設としての役割が果たせるよう努めます。

生活の安全・安心の確保

台風や地震などの自然災害をはじめ、複雑化する消費者問題など、市民の安全・安心に対する関心は一段と高まってきています。そのため、防災対策の根



幹となる赤穂市地域防災計画に基づき、国・県の新たな指針に基づき改定するほか、更なる防災行動力の向上を目指し、地域の皆さまを中心とした自主防災組織による防災総合訓練やコミュニティ防災訓練を継続実施します。また、地震対策として、簡易耐震診断や耐震改修、危険ブロック塀等撤去工事などの事業補助を行い、住宅の耐震改修等を促進します。

国人からの119番通報等における多言語同時通訳体制や耐震性防火水槽の整備などを推進します。非常備消防体制については、第13分団詰所の建て替えに向けた実施設計及び同分団消防ポンプ自動車を更新します。

また、救急体制については、赤穂消防署の高規格救急車や上郡消防署のAEDを更新するとともに、救急救命士2名を養成し、救急業務の高度化を推進します。

消費者対策としては、引き続き消費生活センターによる相談や啓発の充実に努めるほか、消費者協会と連携し、消費生活向上に取り組めます。

施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし

公共下水道の整備として、引き続き野中・砂子地区等における土地区画整理地内の管渠整備を進めるとともに、坂越ポンプ場及び御崎第2ポンプ場の整備等を実施します。また、農業集落

自然と共生するまちの形成
赤穂の誇る豊かな自然環境や良好な生活環境を次代に継承するためには、市民、事業者、行政による相互協力が必要不可欠です。
生活環境の整備については、大気や水質等に関する環境調査を行い、情報提供や啓発活動を行っていきま

第2の柱

自然と共生する
住みよい
まちづくり



排水事業については、有年・檜原地区と東有年地区等の統廃合を行うなど、経営の健全化に努めます。
ごみ処理施設については、粗大ごみのストックヤードを整備するほか、施設の適切な整備により長寿命化を図ります。また、ごみ処理広域化については、事業実現可能性調査を実施

魅力ある都市空間の形成

住環境の整備については、引き続き尾崎地区及び塩屋地区において、密集住宅市街地整備促進事業などを実施し、防災性と住環境の向上に努めます。
空家対策については、危険空家の除却をはじめ、空家活用のための費用助成により、生活環境の改善と地域の活性化を図るとともに、ふるさと納税返礼品としての空家管理を継続実施するなど、赤穂市空家等対策計画に基づく快適な住環境づくりに取り組みます。
水道事業については、老朽化した管路の改良や配水施設更新のほか、北野中浄水場における耐震補強工事と水質安全対策として紫外線処理設備工事を実施するなど、引き続き安全でおいしい水の安定供給に努めます。

質の高い都市機能の整備
土地区画整理事業については、有年地区、野中・砂子地区及び浜市地区において、区画道路築造工事など事業の進捗を図ります。
また、JR有年駅前に整備した駐車場等を供用開始することにより、駅利用者の利便性向上を図ります。



安全・安心に生活できるまち

★印=新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

おもいやりで満たした福祉社会を築く

- ①みんなで支え合う地域福祉を進める
- ・地域総合援護システム推進事業 ……168万円
 - ・総合福祉会館整備事業 ……2,020万円
 - ・福祉のまちづくり推進事業 ……1,940万円

②子育てしやすい環境をつくる

- ・アフタースクール子ども育成事業 ……4,580万円
- ・アフタースクール整備事業(赤穂小) ……170万円
- ★病児・病後児保育事業 ……1,153万円
- ・第3子いきいき子育て応援事業 ……694万円
- ・中学生第3子手当支給事業 ……274万円
- ★保育所安全確保対策事業 ……100万円
- ★保育料軽減事業(給食費軽減ほか) ……541万円

③障がい者が自立しやすい環境をつくる

- ・障害者地域生活支援事業 ……6,610万円
- ▷基幹相談支援センター等機能強化事業
- ★意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター、手話奉仕員養成研修事業ほか

④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる

- ・介護老人保健施設事業 ……3億1,448万円
- ・介護保険事業
- ▷保険給付 ……40億4,890万円
- ▷地域支援事業 ……2億7,264万円

⑤社会保障制度を適切に運営する

- ・被保護者就労支援事業 ……283万円
- ・生活困窮者自立支援事業 ……401万円
- ・生活困窮者支援事業 ……32万円
- ・国民健康保険税
- ★課税限度額・税率の改正

⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる

- ・隣保館事業 ……235万円
- ▷教室開設ほか(175万円)
- ▷備品整備ほか(60万円)
- ・人権啓発事業 ……131万円

保健・医療サービスを充実する

- ①生涯にわたる健康づくりを進める
- ・育児健康支援事業 ……191万円
 - ▷プレママ・プレパパクラスほか

- ★産後ケア事業
- ★母子訪問指導 ……89万円
- ・健康診査費等助成事業 ……2,863万円
- ★産婦健康診査ほか

②安心できる地域医療体制をつくる

- ・救急医療情報システム事業負担金 ……112万円
- ▷兵庫県広域災害救急医療情報システム運営(37万円)
- ▷小児救急医療電話相談(75万円)
- ・市民病院整備事業 ……2億1,057万円

生活の安全・安心を確保する

- ①災害に強いまちをつくる
- ・耐震改修促進事業 ……1,114万円
 - ★地域防災計画改定事業 ……670万円

②消防・救急救助体制を充実する

- ★Net119緊急通報システム整備事業 ……381万円
- ★通信指令システム改修事業 ……96万円

③交通安全・防犯意識を高める

- ・交通安全対策推進費 ……66万円
- ・交通安全施設等整備事業 ……880万円

④消費生活の安全を守る

- ・消費者行政活性化事業 ……517万円



**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

国際理解の推進については、国際交流協会との連携により、青少年の海外派遣をはじめとしたロッキンガム市との交流を積極的に推進します。

定住支援については、おとし暮らし住宅事業や移住体験バスツアー、各種支援金制度を継続するとともに、新たに東京圏からのUJITターンを想定した移住支援を実施するなど、本市への移住・定住の促進と市内経済の活性化に努めます。

多様な交流の推進

広域連携については、東備西播定住自立圏形成推進協議会や播磨圏域連携中枢都市圏をはじめ、西播磨市町長会、兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会を通じて、近隣自治体との連携を推進します。

地域間交流については、笠間市及び山鹿市とのスポーツ・文化活動などを通じた姉妹都市交流をはじめ、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を引き続き推進します。

交流基盤の整備

公共交通の確保については、市内循環バス「ゆらのすけ」を増車することにより、全路線の運行日数を週3日にするとともに、高野ルートにおいて停留所を6カ所増加するほか、デマンドタクシー「うね・のり愛号」や圏域バス「ていじゅうろ」を継続運行し、地域交通の利便性の向上に努めます。



は、塩屋野中線の歩道改良事業などを行うほか、赤穂市橋梁長寿命化修繕計画に基づく新田橋などの橋梁修繕や舗装修繕工事を適宜実施します。

都市計画道路の整備については、赤穂大橋線に係る道路整備などを実施し、事業の推進を図ります。

また、国道2号や国道250号など広域幹線道路の整備促進及び事業化については、関係自治体との連携を図りながら、引き続き

自然と共生する住みよいまち

★印=新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

自然と共生するまちをつくる

- ①豊かな自然環境を保全する
 - ・森林・山村保全管理事業 ……8万円
 - ・赤穂ふれあいの森整備事業 ……460万円
 - ・山地緑化事業 ……430万円

②さわやかな生活環境を保全する

- ・環境基本計画推進事業 ……197万円
- ★産業廃棄物最終処分場対策補助金 ……30万円
- ・下水道の整備 ……8億6,945万円
 - ▷汚水管渠整備(野中・砂子土地区画整理地区ほか)
 - ▷雨水渠整備(有年土地区画整理地区ほか)
 - ▷ポンプ場建設改良事業(坂越ポンプ場整備工事ほか)
 - ▷処理場建設改良事業(有年檜原・東有年地区機能強化ほか)

③地球環境にやさしいまちをつくる

- ・ごみ処理広域化事業 ……1,060万円
- ★管理施設整備事業 ……2,500万円

魅力ある都市空間を形成する

①快適な住環境をつくる

- ・空家等対策事業 ……1,560万円
- ★古民家再生促進支援事業補助ほか
- ・上水道の整備 ……8億5,452万円

②水とみどり豊かな都市環境をつくる

- ・野中・砂子公園整備事業 ……2,700万円
- ・都市公園整備事業 ……1,660万円

③自然・歴史・文化と調和した景観をつくる

- ・快適環境推進事業 ……23万円

質の高い都市機能を整備する

①土地の利活用を適正に進める

- ・地籍調査事業 ……1,520万円

②良好な市街地の整備を進める

- ・レンタサイクル事業 ……226万円
 - ▷坂越駅前 10台 300円
 - ★有年駅前 5台 300円
- ・土地区画整理事業 ……3億3,510万円
 - ▷有年地区(区画道路築造工事ほか2億55万円)
 - ▷野中・砂子地区(組合補助金ほか8,455万円)
 - ▷浜市地区(市助成金ほか5,000万円)

第3の柱

産業と交流が盛んな活力のあるまちづくり

活力ある産業の形成

地域産業の振興と雇用の場を確保するため、企業の本社機能立地支援のほか、工場立地促進条例に基づく立地企業への支援継続などにより企業誘致に取り組みます。

なお、山陽自動車道赤穂インター周辺地区の土地利用については、地元の意向も踏まえながら今後検討します。

商業振興については、引き続き商工会議所等と連携し、商業の活性化と地域のにぎわいづくりを推進します。

農林水産業の振興については、引き続き新規就農者や認定農業者等の担い手確保に取り組みほか、農道や用水路などの農業基盤の維持管理や農村環境の保全活動を支援します。また、た



め池整備やハザードマップ作成などの防災減災、長寿命化のための基幹水利施設整備などを実施します。

観光振興については、新たな赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会をはじめ、JR、関係団体、近隣市町とも連携して日本遺産をはじめとする観光資源の有効活用や情報発信の強化を行うなど、観光地域づくりを推進します。

地域情報化の推進

行政事務の情報化については、マイナンバーを活用した情報連携などにより、利便性向上と更なる効率化を図るとともに、県と共同で高度な情報セキュリティ対策を行い、個人情報保護対策に万全を期してまいります。



き国、県に要望を行うほか、国道250号高取峠トンネル化の実現のため、事業効果について検証を行います。



は、新学習指導要領の趣旨に基づき、主体的・対話的に、児童生徒の学びについて

は、安全・安心の確保及び若い力の健全育成については、青少年育成推進委員や学校サポートチーム及び関

電子書籍の充実やブック宅

スポーツによる元気なまちづくりを推進するとともに

海洋科学館については、引き続き東備西播定住自立

第4の柱

生涯にわたる夢を育むまちづくり

教育環境の整備

教育環境の整備については、赤穂市教育振興基本計画(赤穂教育プラン)に基づき、「夢を育む教育」の創造をめざし、総合的・計画的に推進します。

幼児教育の充実については、幼児を持つ家庭や地域との連携を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな教育を推進します。

義務教育の充実については、校内研修等を通じた教職員の資質と指導力の向上を図ることにより、児童生徒の基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、学力向上をめざす教育活動の充実を努めます。

で深い学びによる学習指導を通して、各学校での取組の充実を図ります。また、市内中学校生徒会を中心とする交流会の実施などによる児童生徒の自主的・主体的な取組への支援、さらには部活動における外部指導員の導入やICTを活用した支援に取り組みます。特別支援教育については、特別支援教育指導補助員の活用やタブレットを用いた効果的な授業、づくりの実践など、障がいの特性に応じたきめ細やかで適切な指導を行い充実を図ります。

関係機関との連携を図りながら、スクールカウンセラーや「心の教室相談員」の配置、スクールソーシャルワーカーの増員と派遣による教育相談活動の充実に努めます。

配サービスの実施により、引き続き読書環境の整備に努めます。スポーツ活動の推進については、赤穂市スポーツ推進計画に基づく事業を効率的・効果的に実施し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる活動の場と機会の充実を図ります。

に、忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信します。

産業と交流が盛んな活力のあるまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

活力ある産業を形成する

①地域産業を振興する

- ・企業誘致促進事業 ……96万円
- ・工場立地促進奨励金交付事業 ……1億5,305万円

②商業の振興を図る

- ・中心市街地にぎわいづくり事業 ……530万円
 - ▷加里屋さんもく楽市事業補助
 - ▷赤穂情報物産館運営事業補助
 - ▷市街地にぎわいづくり事業補助
- ・中小企業経営安定資金融資預託金 ……2億円
- ・駐車場事業 ……1,618万円
 - ▷施設整備ほか

③地場産品を使った赤穂の魅力を創出する

- ・地産地消推進事業 ……117万円
 - ▷稲作体験農園設置事業ほか
- ・しおブランド化推進事業 ……348万円
 - ▷枘との連携による塩プロモーション事業ほか

④農業・漁業を活性化

- ・農地・水保全管理事業 ……4,740万円
- ・農村地域防災減災事業 ……6,302万円

⑤観光の振興を図る

- ・義士祭奉賛会補助金 ……2,400万円
- ・観光アクションプログラム推進事業 ……1,471万円
 - ▷観光キャンペーン事業(557万円)
 - ▷観光協会事業補助(411万円)
 - ▷観光イベント等補助(275万円)
 - ▷観光ボランティアガイド育成事業(15万円)
 - ▷観光客おもてなし事業(163万円)
 - ▷J R赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金(50万円)
- ・観光施設整備事業 ……780万円

⑥就労環境を充実

- ・高齢者就業機会確保事業 ……1,394万円
- ★労働施設整備事業 ……585万円

多様な交流を推進する

①近隣市町村との広域連携を進める

- ・定住自立圏構想推進経費 ……510万円

②特色ある地域間交流を進める

- ・義士親善友好都市交流事業 ……195万円

③国際理解を深める

- ★国際交流推進事業 ……245万円
- ・グローバル化教育推進事業 ……2,012万円
 - ▷外国人講師による英語教育
 - ▷国際理解サポーターの配置
 - ▷アートマイル推進事業

④定住を促進する

- ・定住支援推進事業 ……5,009万円
 - ▷転入者定住支援金
 - ▷新婚世帯家賃助成
 - ▷若者世帯住宅取得支援金
 - ▷お試し暮らし住宅事業ほか
- ★東京圏からの移住支援金
- ・東京あこうのつどい開催経費 ……194万円

交流基盤を整備する

①公共交通の利便性を確保

- ★市内循環バス運行事業 ……1,600万円
- ・デマンドタクシー運行事業 ……250万円

②利便性の高い道路網を構築

- ・広域幹線道路整備促進事業 ……230万円
- ・都市計画街路事業 ……9,020万円
- ・生活道路整備 ……4億360万円

地域情報化を推進

①地域情報化を推進

- ・高度情報化推進事業 ……1億1,918万円
- ・情報教育推進事業 ……1億177万円



個性ある地域文化の創造

歴史資源の保全・整備については、文化財保存整備事業として、引き続き赤穂城跡の二之丸石垣の整備などを行うほか、東有年・沖田遺跡公園復元住居の屋根葺替や、市内一円における文化財の説明標柱等を取りニューアルするなど、文化財の整備を進めます。

歴史・伝統文化の保存・活用については、図説赤穂市史の編集や市史史料集の発刊のほか、引き続き赤穂市伝統文化祭を開催するとともに、獅子舞など地域の伝統文化の映像記録化や、文化財の積極的な公開と活用、情報発信に努めます。

歴史博物館については、開館30周年を迎えるにあたり、義士シアターの設備更新や30周年記念特別展を開催するほか、展示内容の充実を図ります。

**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

このため、市政全般において、赤穂市個人情報保護条例及び情報公開条例の適正な運用に努めるほか、パブリックコメント制度や審議会等委員の公募などにより、市民参加の機会を引き続き設けます。

また、関西福祉大学との新たな連携として、関西福祉大学大学院において学ぶ意思のある職員の研修費用の助成を行い、職員の専門知識の向上と将来へのキャリアアップを図ります。

また、ル・ポン国際音楽祭2019を開催し、市民の皆さまにクラシック音楽を気軽に楽しんでもいただくとともに、赤穂の名を広く国内外に発信します。

**第5の柱
市民と行政が
ともに歩む
まちづくり**

は、広報あこうや早かごセミナーのほか、SNSや動画配信による情報提供を行うなど、様々な情報媒体を有効に活用し、情報の共有化に努めます。また、市民の皆さまと膝を突き合わせて対話できるような機会を積極的に設けるなど、市民と行政が共に歩む、開かれた市政を推進します。

男女共同参画社会づくりについては、今後とも赤穂市男女共同参画社会づくり条例及び男女共同参画プランに基づき、全庁的に取り組めます。

**多様なコミュニティ
活動の活性化**

まちづくり活動の推進については、それぞれの地域の特色を活かした地区まちづくりビジョンの実現のため、各地区における自発的なまちづくり活動を支援します。

健全で効率的な行財政運営

本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続いていま

すが、健全で持続可能な行財政運営を維持しながら、時代の要請に応じた新しい行政サービスを市民の皆さまに提供していくためには、行財政改革を推進するとともに、職員一人ひとりが高い倫理観のもと、常にコスト意識と経営感覚を持ち、新しい時代の流れに沿った変革と創造ができる力を身につける必要があります。

このため、人事評価制度の適切な運用や研修内容の充実により、個々の能力向上を図り、時代が求める職員の育成に努めます。

平成31年度においては、現行の総合計画の見直しに向け、市民意識調査やワークシヨップの開催、庁内プロジェクトによる検討等を経て、新総合計画の素案策定に着手します。また、現行の総合戦略を1年間延長して総合計画との期間を合わせることにし、まちづくりの基本構想と推進体系の一体化を図り、議会をはじめ、市民の皆さまや多くの方々のご意見を取り入れながら、新しい赤穂の創生

に向けた新総合計画の策定を進めます。

いよいよ平成の時代が終わり、新しい元号を迎え、夢と希望にあふれた魅

力ある赤穂の新しい幕開けとなるよう、粉骨砕身取り組んでまいりますので、格段のご理解とご協力をお願いいたします。

市民と行政がともに歩むまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

市民との協働を推進する

- ①開かれた市政を推進する
 - ・高等教育機関連携推進事業 ……20万円
 - ★職員大学院派遣研修事業 ……118万円
 - ▷関西福祉大学大学院への職員派遣
- ②市民と行政の情報共有化を進める
 - ・広報の充実 ……1,033万円
 - ▷市政ニュース発行経費ほか
- ③男女共同参画社会を築く
 - ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……197万円

多様なコミュニティ活動を活性化

- ①多様なコミュニティ活動を活性化
 - ・まちづくり振興協会補助金 ……2,620万円
 - ・地区まちづくり支援事業 ……756万円

健全で効率的な行財政運営を行う

- ①健全で効率的な行財政運営を行う
 - ★使用料・手数料等審議会開催経費 ……73万円
 - ・ふるさとづくり寄付金推進事業 ……1,412万円
 - ・総合計画推進事業 ……2,000万円
 - ▷基本構想・基本計画策定委託ほか
 - ★参議院議員選挙 ……2,360万円
 - ▷平成31年7月28日 任期満了
 - ・兵庫県議会議員選挙 ……1,250万円
 - ▷平成31年6月10日 任期満了



生涯にわたり夢を育むまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

教育環境を整える

- ①幼児・義務教育を充実する
 - ・特色ある学校づくり推進事業 ……417万円
 - ・心いきいき推進事業 ……1,405万円
 - ▷不登校児童生徒防止のための総合的対応
 - ▷スクールソーシャルワーク推進事業
 - ・運動部活動活性化推進事業 ……49万円
 - ▷外部指導者派遣
 - ★ICT部活動支援
 - ・3歳児保育施設等整備事業 ……120万円
 - ★学校給食費補助金 ……2,063万円
 - ▷無償化対象 幼・小・中490人
 - ・給食センター整備事業 ……2,540万円
 - ▷施設整備ほか
- ②特別支援教育を充実する
 - ・特別支援教育推進事業 ……2,022万円
 - ・特別支援教育事業 ……2,580万円
- ③信頼される学校園づくりを進める
 - ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……277万円
 - ・環境体験事業 ……168万円
- ④若い力を健全に育成する
 - ・青少年健全育成推進事業 ……197万円
 - ★青少年育成センター等整備事業 ……750万円
 - ▷施設整備

生涯学習・スポーツ活動を推進する

- ①生涯学習を充実する
 - ・子育て学習活動推進事業 ……360万円
 - ・公民館活動の充実 ……720万円
 - ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……50万円
 - ・市民会館整備事業 ……1,300万円
- ②スポーツ活動を推進する
 - ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,237万円
 - ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第31回大会) ……210万円
 - ・赤穂シティマラソン大会開催経費 ……1,650万円
 - ★トレッキングマップ作成事業 ……18万円

個性ある地域文化を創造する

- ①歴史・伝統文化を継承し活用する
 - ・地域文化財調査事業 ……250万円
 - ・文化財保存整備事業 ……6,560万円
 - ★文化財説明標柱整備
 - ▷二之丸石垣整備ほか
 - ・海洋科学館整備事業 ……1,650万円
 - ・歴史博物館整備事業 ……510万円
 - ▷義士シアター映像機器整備ほか
- ②文化芸術活動を推進する
 - ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,250万円
 - ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……1,400万円
 - ・文化会館整備事業 ……8,740万円

写真で見る予算

市内循環バス運行事業



事業費 **1,600**万円
一般財源ほか **1,600**万円

市内循環バス「ゆらのすけ」を1台増車することにより、全路線の運行日数を週3日とし、高野ルートにおいて停留所を増設するなど、利用者の利便性向上を図ります。

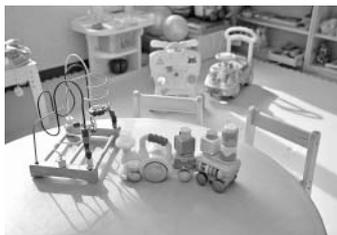
定住支援推進事業



事業費 **5,009**万円
県支出金 **358**万円
一般財源ほか **4,651**万円

新婚世帯への家賃助成や転入世帯・若者世帯への住宅取得支援に加え、東京圏からの移住支援を開始するとともに、おとし暮らし住宅事業や移住体験バスツアーも引き続き実施し、さらなる定住促進に取り組みます。

病児・病後児保育事業



事業費 **1,153**万円
国庫支出金 **306**万円
県支出金 **306**万円
一般財源ほか **541**万円

赤穂市民病院と連携した病児・病後児保育を実施し、就労の状況等からやむを得ず病気の子どもを看ることができない保護者を支援します。

空家等対策事業



事業費 **1,560**万円
国庫支出金 **300**万円
県支出金 **413**万円
一般財源ほか **847**万円

赤穂市空家等対策計画に基づき、危険な空家等の解消による安全で安心なまちづくりに加え、空家や古民家を住宅、事務所又は地域交流拠点などとして活用する方々へ改修費の支援を行うなど、総合的な空家等対策を推進します。

Net119 緊急通報システム整備事業

事業費 **381**万円
一般財源ほか **381**万円



会話に不自由な聴覚・言語障がい者が、スマートフォン等を用いて音声によらない119番通報を行えるシステムを導入し、障がい者の円滑な緊急通報体制を整えます。

運動部活動活性化推進事業

事業費 **49**万円
一般財源ほか **49**万円



運動部活動に外部の指導員及びICT指導を導入し、生徒への専門的指導の確保や教員の負担軽減を図り、中学校運動部活動の活性化を促進します。

学校給食費補助金

事業費 **2,063**万円
一般財源ほか **2,063**万円



幼稚園、小学校及び中学校に在籍する第3子以降の学校給食費を無償化することで、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るく家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。